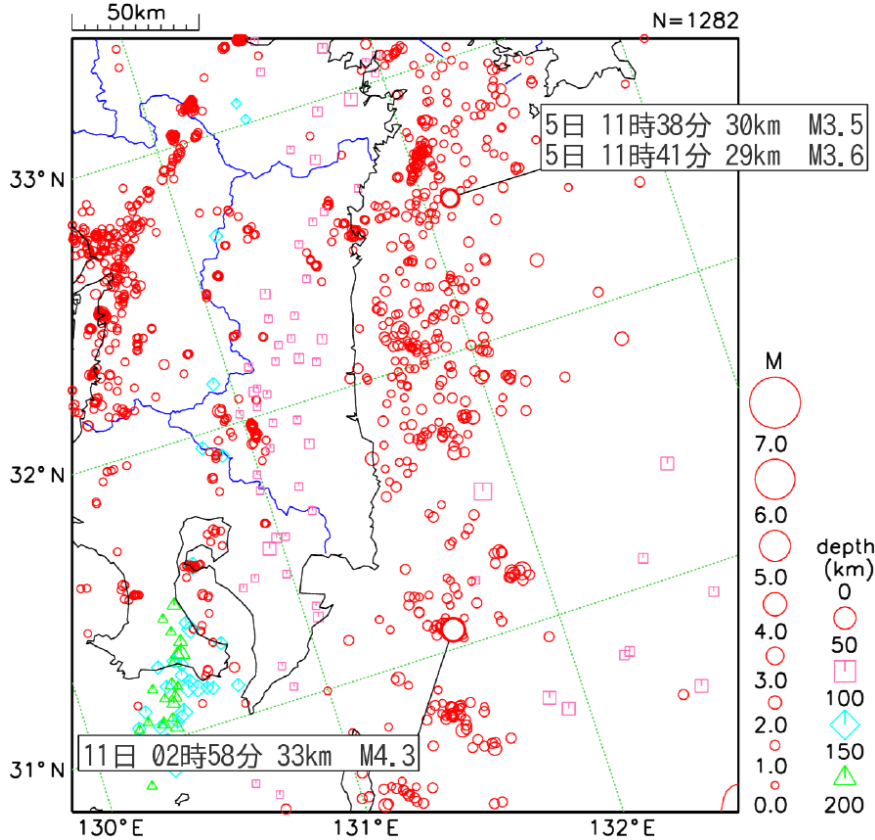


宮崎県の地震活動概況（2023 年 9 月）

令和 5 年 10 月 4 日
宮崎地方気象台

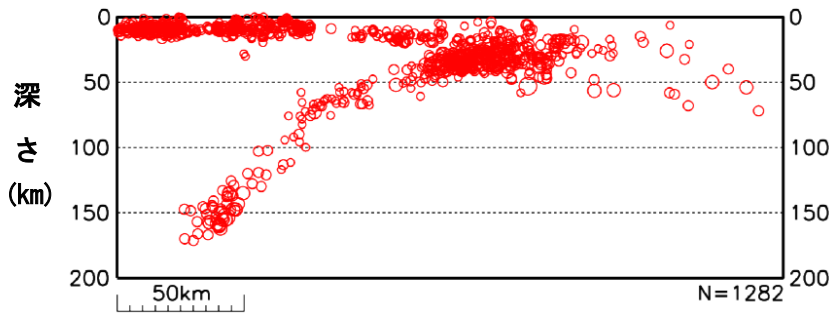
【地震活動の概要】

9 月に宮崎県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震は 3 回（8 月は 9 回）でした。



震央分布図（2023 年 9 月 1 日～30 日、M0.0 以上、深さ 200 km 以浅）

地震の規模（マグニチュード M）は記号の大きさで、震源の深さを記号と色で示しています。宮崎県で震度 1 以上を観測した地震に吹き出しをつけています。



断面図（震央分布図の投影、深さ 200 km 以浅）

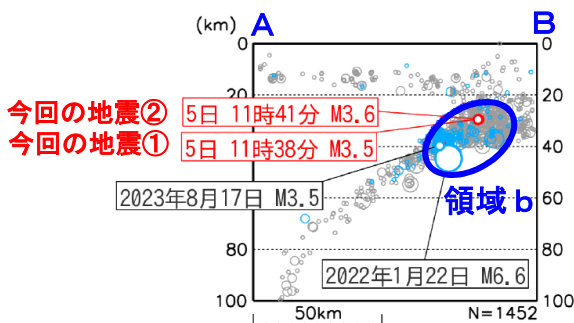
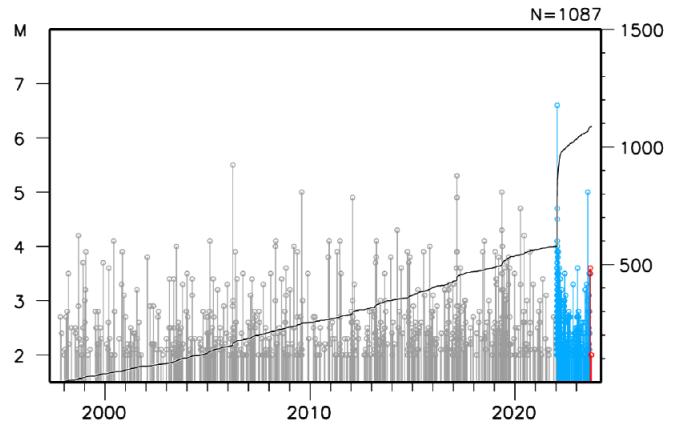
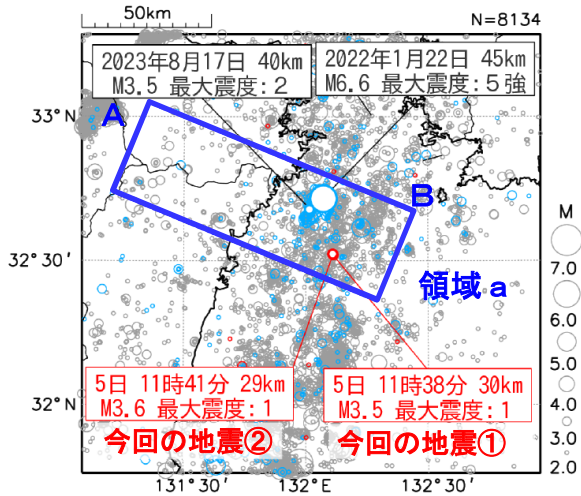
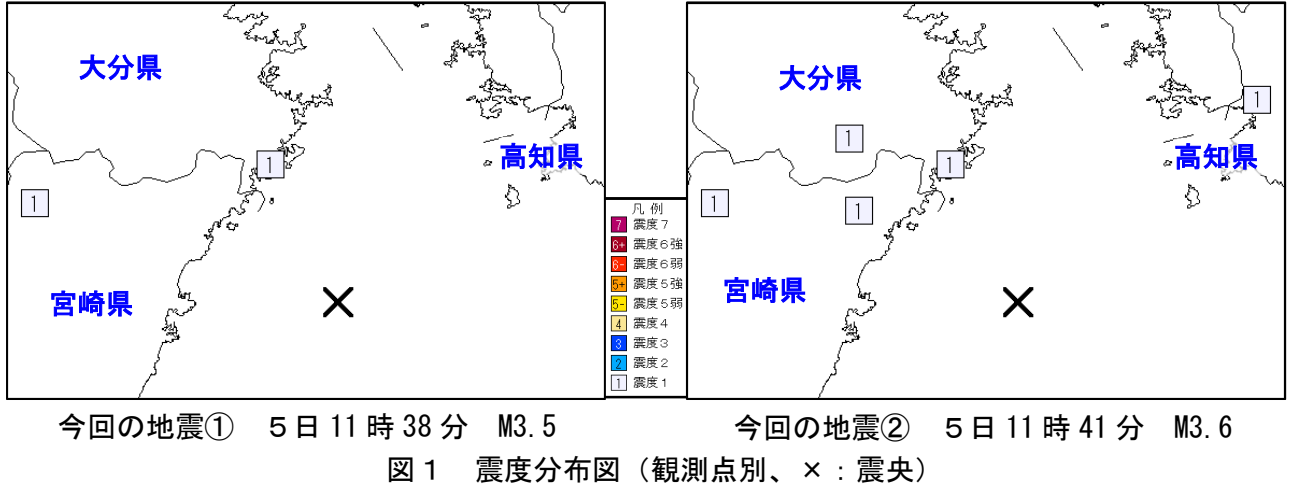
国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

5日 日向灘を震源とする地震

5日11時38分に発生したM3.5の地震（深さ30km、今回の地震①）により、宮崎県高千穂町、大分県佐伯市で震度1を観測しました。また、同日11時41分にほぼ同じ場所で発生したM3.6の地震（深さ29km、今回の地震②）により、宮崎県の延岡市、高千穂町、大分県佐伯市、高知県宿毛市で震度1を観測しました（図1）。

今回の地震の震源付近（図3領域b）は、日頃から地震活動が見られる領域で、最近では、2023年8月17日にM3.5の地震（深さ40km、最大震度2）が発生し、県内では、延岡市で震度2を観測しました。

また、2022年1月22日にはM6.6の地震（深さ45km、最大震度5強）が発生し、県内では、延岡市、高千穂町で震度5強を観測しました（図2～4）。



11 日 大隅半島東方沖を震源とする地震

11 日 02 時 58 分に発生した M4.3 の地震（深さ 33km）により、宮崎県日南市、鹿児島県錦江町で震度 2 を観測したほか、宮崎県、鹿児島県で震度 1 を観測しました（図 5）。

今回の地震の震源付近（図7領域b）は、日頃から地震活動が見られる領域で、最近では、2022年8月25日にM4.0の地震（深さ31km、最大震度1）が発生し、県内では、串間市で震度1を観測しました。

また、2000 年 6 月 25 日には M6.0 の地震（深さ 36km、最大震度 4）が発生し、県内では、日南市で震度 4 を観測しました（図 6～8）。

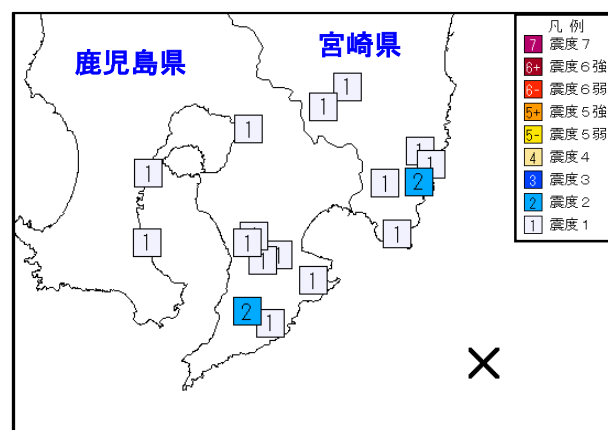


図5 震度分布図（観測点別、×：震央）

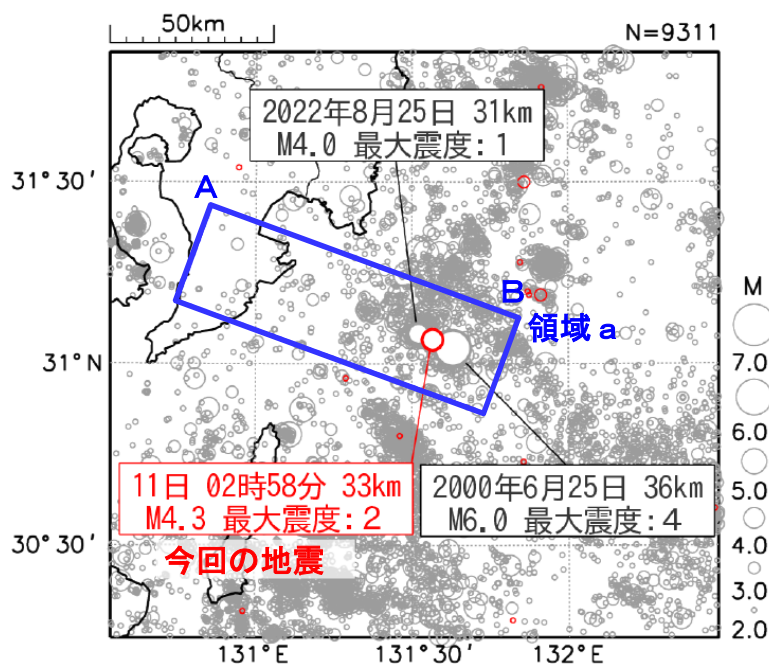


図6 震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 2.0$)

※2023 年 9 月の地震を赤色で表示

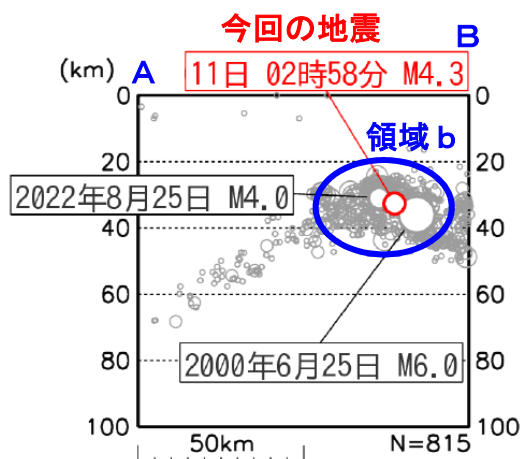


図7 図6領域a内の断面図（A-B投影）

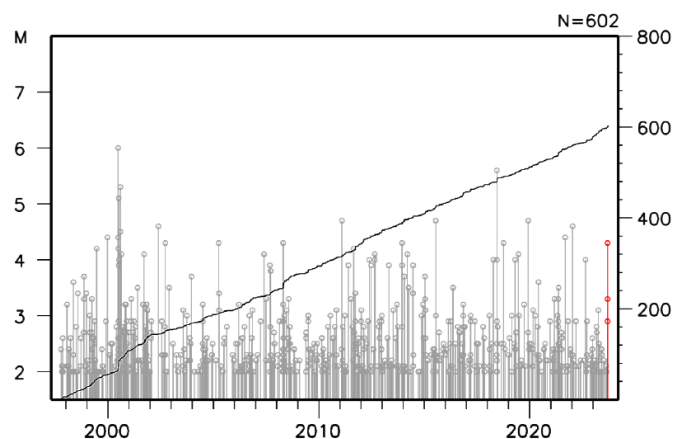


図8 図7領域b内の地震活動経過図
および回数積算図

宮崎県内で震度 1 以上を観測した地震の表（9 月 1 日～30 日）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2023 年 09 月 05 日 11 時 38 分 震度 1：高千穂町三田井	日向灘	32° 31.4' N	132° 06.6' E	30km	M3.5
2023 年 09 月 05 日 11 時 41 分 震度 1：延岡市北川町川内名白石＊, 高千穂町三田井	日向灘	32° 31.3' N	132° 06.7' E	29km	M3.6
2023 年 09 月 11 日 02 時 58 分 震度 2：日南市南郷町南町＊ 震度 1：日南市油津, 日南市吾田東＊, 串間市奈留, 串間市都井＊, 都城市菖蒲原 都城市山之口町花木＊	大隅半島東方沖	31° 03.9' N	131° 33.9' E	33km	M4.3

使用した震源要素等は暫定値であり、後日修正することがあります。

＊は地方公共団体または、国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。

11 月 2 日は緊急地震速報の訓練に参加しましょう！

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。

気象庁では、11 月 2 日（木）に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間のごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してみましょう。

また、普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう！

➤ 訓練実施日時

令和 5 年 11 月 2 日（木） 10 時 00 分頃

国の機関や地方公共団体（全国瞬時警報システム「J アラート」経由）、民間の緊急地震速報を提供する配信事業者のうち、訓練への参加を計画している機関や団体に対して、訓練用の緊急地震速報を配信します。

※ 訓練用の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール（エリアメール）には流れません。（一部のコミュニティ FM 等を除く）

➤ 訓練への参加方法

- ◇ お住まいの自治体の防災行政無線や商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。自治体からのお知らせ、気象庁のホームページ等でご確認ください。
- ◇ 気象庁ホームページで公開している訓練用動画や、スマートフォンの訓練用アプリを使ってみましょう。
- ◇ 緊急地震速報を受信する端末をお持ちの方は、訓練用の緊急地震速報や受信端末に備わる訓練機能を利用してみましょう。

緊急地震速報を聞いたら、どうすればいいの？

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



頭を守って、安全な場所に避難！



危ない場所から離れて！



お店では、あわてず
係員の指示に従って！

詳しくは気象庁ホームページをご覧ください。 **緊急地震速報 訓練**
<https://www.data.jma.go.jp/cew/data/nc/kunren/2023/02/kunren.html>

